

住民票・戸籍謄本など 2010年から

支所連絡所の「窓口業務」廃止！

7カ所のサービスセンターに！

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代です

2009・6・4
連絡先
453-7758



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

市長に

「窓口業務」廃止するな
きちんと説明を

と要望

和歌山市は「行政改革」のため、来年度10月頃から2年かけて支所・連絡所を取り扱っている住民票や戸籍謄本、印鑑証明などの発行や届け出等の「窓口業務」を廃止し、「コミュニティセンター」等の一角にサービスセンターを設け、そこに移す計画です。サービスセンターは日曜日も受け付けるなど便利になる面もありますが、遠く離れた地域は不便になり、サービス低下は避けられません。市民から計画の見直しを求める声が上がっています。日本共産党市会議員団は、市の責任でサービスを低下させない対策をとること、市民のみなさんにきちんと説明することを市長に要望しています。

08年度の有功支所の証明書の交付は13875件で、市内で2番目に多い件数とな

っています。楠見連絡所は10031件です。直川の複合施設（11年度中に開設予定）で対応する地域となっている山口地域では、例えば、山口小学校から約4km離れています。支所の交付数は3100件となっています。高齢者や障害のある方については支所・連絡所の職員が申請書をまとめてサービスセンターに出向いて取りに行き、本人に渡すということですが、まだ詳しいことは決められていません。今まで身近に利用できていたことからすれば、一律にサービスセンターに集約することで市民サービスが低下することが懸念されます。市はもったこの影響について丁寧に調査し、必要な対策をとるべきではないでしょうか。



10年4月から、全小学校で学童保育 実施！

市長は今年の当初議会で「現在、放課後子ども教室で実施している9校について、10年度4月から放課後児童健全育成事業に移行し、若竹学級として運営できるように教室などの施設整備を行っていく」と述べました。現在、小学校での学童保育が未実施の保護者の方から強い要

望がありながら実施されなかったことからすれば「やっと！」の思いがあります。1年生の時に市に要望した子どもさんは今4年生です。共働き家庭にとって子どもたちが放課後安心して過ごせるかは大きな問題です。これからの取り組みでいえます。共産党市議団はかねてから「全小学校で希望者全員が安心して

放課後を過ごせる学童保育の実施を」と取り組んできました。来年度からの実施に向け教室などの施設整備が行われますが、市議団としては定員をオーバーしている施設の充実や保護者の労働実態に合った内容の充実等、皆さんのご意見、ご要望を是非お寄せください。

こんにちは！ 奥村のり子です

もうすぐ、6月議会がはじまります。新型インフルエンザの問題では市民が安心できるように十分な対策をす

るよう県や国に緊急申し入れをしてみました。さらに議会でも質しているかなければと思っっています。乳幼児や妊婦、糖尿病などの病気を抱っ

る人が感染すれば重症化が心配です。救急医療や産科医療体制の維持は今まで以上に緊急の課題となります。感染の予防は総力をあげてやるべきことです。お年寄りから子どもまですべての市民のいのちを守るための対策が必要です。広報では「冷静な対応」を呼びかけていますが、医療崩壊をきたす施策では不安が増すばかりです。



和歌山県議会議員
奥村 のり子

近づく総選挙は安心を勝ちとるための絶好の機会です。私も全力で頑張ります。



「ごみ減量・リサイクルへの提案」のパンフレット完成

今年2月の「こんにちは 南だことなどをパンフレットにまよとして、市長と懇談しました。畑さち代です」で「ごみ有料化とめました。和歌山市はリサイクル率9・5%で全国ワースト3、排出量はワースト5となっています。私たちはこの「ワーストクラス」の和歌山市を何とか変えたい。市民・事業者の協働で「ごみ減量先進都市和歌山市」を実現したい。この思いをこめてパンフレットを作成しました。

5月28日、このパンフレットをお渡し

提案パンフレット



「ごみ減量先進都市和歌山市」を実現したい。この思いをこめてパンフレットを作成しました。



市長にパンフレットを渡す

こんにちはは、くにしげ秀明です



県くらし・福祉対策委員長 くにしげ秀明氏

いま内閣府が、「定額給付金に

関連した消費等に関する調査」

を始めています。

訪問先の書店主の方が、教えてくださいました。調査を委託された会社の調査員が訪ねてきたそうです。

「この調査も税金ですよ。給付金自体が景気対策にもならないことは、分かっていることなのに。もらった給付金は、国保などの支払いで終わります」と怒っています。

本売りの上げは、年金の入金月は比較的いいといいますが。その翌月はうんとダウン。給付金のような一時的なものではダメだ、と強調されていました。

補正予算の生活支援も一時のものにすぎません。

政治の根本的な切り替えが必要

知っ
つす
この
制度

「生ごみ処理器」購入費用補助

「家庭用生ごみ処理器」購入費用の一部補助については、06年は50台、07年は35台、08年は50台の実績でした。今年の予算では「電動生ごみ処理器」の補助が150台分となります。大幅な増加です。この6月の市報で申し込みを呼びかけています。

内容は、「家庭用生ごみ処理器」を購入する方に購入費用の一部を補助します。補助金額は640・8811 和歌山市七本体購入価格の2分の1に相当する額で、限度額は1万8千円です。応募資格は市内に住所を有し、かつ居住している方、購入した容器を適正に維持管理でき、かつ居住している方、購

★当選前の購入は当選されても無効となりますので、くれぐる

是非、皆さんも応募されては

用で

入して下さい。1世帯につき1

通です。応募者多数の場合は抽

選となっています。宛先は、〒

640・8811 和歌山市七

番丁23 和歌山市役所 一般廃

棄物課 電話435・1352

です。

無料生活法律相談

日時：6月17日(水)
7月1日(水)
午後6時～7時

会場：河西診療所組合員ホール

申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
午後6時半～8時
(緊急の場合はお電話で)

会場：南畑幸代生活相談所

TEL 453-3418 または 453-7758
和歌山市善明寺411-4

お問い合わせは南畑幸代まで
453-7758 (自宅) または
435-1113 (日本共産党市議団直通)